



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社

コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田清巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也

TEL 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,659	20.3	659	166.2	620	200.5	464	206.0
23年9月期第1四半期	7,198	11.2	247	—	206	—	151	—

(注)包括利益 24年9月期第1四半期 200百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △258百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	11.22	—
23年9月期第1四半期	3.66	3.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	38,238	19,416	50.8
23年9月期	39,039	19,403	49.7

(参考)自己資本 24年9月期第1四半期 19,416百万円 23年9月期 19,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	2.50	—	4.50	7.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	3.00	—	5.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	14.5	1,200	33.8	1,150	34.4	800	52.1	19.33
通期	39,000	7.8	2,800	1.7	2,700	0.3	1,800	8.9	43.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	43,076,347 株	23年9月期	43,076,347 株
24年9月期1Q	1,692,382 株	23年9月期	1,691,078 株
24年9月期1Q	41,384,946 株	23年9月期1Q	41,388,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ユーロ圏の財政懸念に端を発したソブリンリスクと金融危機が絡み、先行き不透明な状況となっております。米国では、雇用環境が緩やかに回復に向かっているなど、経済指標は堅調な結果を示すものが多くなっており、足元は穏やかな景気回復が継続しております。一方、欧州は債務危機の長期化から、需要見通しの不透明感が高まり、消費や投資が手控えられるなど、平成23年10-12月期のGDP成長率は前期比マイナスに転じたと推測されています。アジアにおいては、インフレ抑制を目的とした利上げや欧州債務危機の影響による輸出鈍化で景気は緩やかに減速しているようではありますが、新興国の需要拡大にも支えられ安定した成長を続けるものと予想されております。日本は、内需は底堅さを維持しているものの、海外景気の減速と円高の影響により、輸出に強い減速感が続いているなど、低めの成長に留まっております。

このような経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、為替が一層円高に振れたことにより、換算上の目減りはありましたが、受注高は128億2千2百万円（前年同四半期比22.5%の増加）、受注残高は183億3千1百万円（前年同四半期比41.8%の増加）、売上高は86億5千9百万円（前年同四半期比20.3%の増加）となりました。

利益面におきましては、期初の受注残高が多かったことによる増収効果に加え、高付加価値な新製品の寄与などにより、営業利益は6億5千9百万円（前年同四半期比166.2%の増加）、経常利益は6億2千万円（前年同四半期比200.5%の増加）、四半期純利益は4億6千4百万円（前年同四半期比206.0%の増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①粉体関連事業

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。二次電池などの電子材料向け及び食品市場向けなどの受注が堅調に推移したほか、期首受注残高が前年同四半期に比べ多かったことなどから、売上高は増加いたしました。

この結果、受注高は94億8千3百万円（前年同四半期比12.3%の増加）、受注残高は145億5千8百万円（前年同四半期比36.6%の増加）となり、売上高は67億9千万円（前年同四半期比14.1%の増加）、セグメント利益（営業利益）は7億9千5百万円（前年同四半期比51.0%の増加）となりました。

②プラスチック薄膜関連事業

各種プラスチック薄膜製造装置を生産販売する当事業は、主に3層を中心に、それ以上の多層高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

欧米、アジア市場とも設備投資は回復傾向にあり、日本においても昨年度より延期となっていた

設備投資案件が動き出しました。

この結果、受注高は23億4千6百万円（前年同四半期比64.3%の増加）、受注残高は26億2千9百万円（前年同四半期比45.8%の増加）となり、売上高は14億4千5百万円（前年同半期比58.2%の増加）、セグメント利益（営業利益）は1億9百万円（前年同四半期は1千万円の営業損失）となりました。

③製菓関連事業

製菓関連事業は、欧米を中心にハードキャンディ、チョコレート、ベーカリーなどの製菓装置の製造販売、エンジニアリングを手掛けております。引き続き厳しい競争下にあるものの、市況は全般に回復傾向にあります。

この結果、受注高は9億9千2百万円（前年同四半期比65.9%の増加）、受注残高は11億4千3百万円（前年同四半期比143.1%の増加）となり、売上高は4億2千3百万円（前年同四半期比27.8%の増加）、セグメント利益（営業利益）は1百万円（前年同四半期は3千3百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、前連結会計年度末に比べ、総資産は主に現金及び預金の減少により8億円減少し、382億3千8百万円となりました。負債は主に未払費用、未払法人税等の減少により8億1千3百万円減少し、188億2千1百万円となりました。純資産は、主に為替が円高に振れたことによる為替換算調整勘定のマイナスが大きくなりましたが利益剰余金の増加などにより、1千3百万円増加し、194億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日付「平成24年9月期決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想につきましては、ユーロ圏の財政懸念に端を発したソブリンリスクと金融危機が絡み、先行き不透明な状況となっておりますので据置とさせていただきます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益（損失）に対する

税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じた税金費用を計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,360	5,375
受取手形及び売掛金	10,015	9,924
有価証券	99	99
製品	1,364	1,764
仕掛品	1,904	2,114
原材料及び貯蔵品	1,603	1,666
繰延税金資産	413	388
その他	752	694
貸倒引当金	△144	△127
流動資産合計	22,370	21,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,989	7,801
機械装置及び運搬具（純額）	1,485	1,424
土地	5,060	5,052
建設仮勘定	49	63
その他（純額）	402	404
有形固定資産合計	14,988	14,746
無形固定資産		
のれん	30	28
その他	348	323
無形固定資産合計	378	352
投資その他の資産		
投資有価証券	640	617
繰延税金資産	328	320
その他	347	317
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	1,301	1,241
固定資産合計	16,668	16,340
資産合計	39,039	38,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,528	4,563
短期借入金	87	16
1年内返済予定の長期借入金	348	472
未払費用	1,888	1,615
未払法人税等	673	223
繰延税金負債	109	173
前受金	2,361	2,961
賞与引当金	412	151
役員賞与引当金	59	21
製品保証引当金	609	550
受注損失引当金	121	121
設備関係支払手形	2	7
その他	1,081	813
流動負債合計	12,284	11,692
固定負債		
長期借入金	3,495	3,313
退職給付引当金	3,439	3,384
役員退職慰労引当金	128	—
繰延税金負債	235	238
資産除去債務	38	38
その他	13	154
固定負債合計	7,351	7,129
負債合計	19,635	18,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	7,577	7,855
自己株式	△1,280	△1,281
株主資本合計	25,999	26,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△119	△140
繰延ヘッジ損益	△1	△3
為替換算調整勘定	△6,400	△6,644
在外子会社の年金債務調整額	△75	△72
その他の包括利益累計額合計	△6,596	△6,860
純資産合計	19,403	19,416
負債純資産合計	39,039	38,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,198	8,659
売上原価	4,553	5,452
売上総利益	2,644	3,207
販売費及び一般管理費	2,397	2,548
営業利益	247	659
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	3	4
その他	14	16
営業外収益合計	26	27
営業外費用		
支払利息	13	12
持分法による投資損失	0	0
為替差損	22	24
その他	31	29
営業外費用合計	67	66
経常利益	206	620
特別利益		
固定資産売却益	—	75
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	22	75
特別損失		
固定資産処分損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
特別退職金	—	12
その他	0	—
特別損失合計	12	12
税金等調整前四半期純利益	216	682
法人税等	64	218
少数株主損益調整前四半期純利益	151	464
四半期純利益	151	464

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△20
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	△465	△244
在外子会社年金債務調整額	12	2
その他の包括利益合計	△410	△264
四半期包括利益	△258	200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△258	200
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,953	913	331	7,198	—	7,198
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	5,956	913	331	7,201	△2	7,198
セグメント利益又は損失 (△)	527	△10	△33	483	△235	247

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△235百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,790	1,445	423	8,659	—	8,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	6,793	1,445	423	8,662	△2	8,659
セグメント利益	795	109	1	907	△247	659

(注) 1 セグメント利益の調整額△247百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。